

JVMA通信

■ No.24 (2017年4月号) ■

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

一般社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



第5回通常総会 及び 各支部総会 (開催予定)

本年5月から6月にかけて、次のとおり、当会通常総会および各支部総会を開催する。

■第5回通常総会

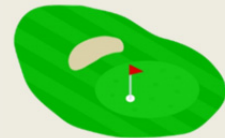
開催日時・場所: 2017年6月9日(金) 於: 八芳園

- ①第5回通常総会 13:30~14:45 3階「チャット」
- ②総会行事(各種受賞者の報告) 14:45~15:00 3階「チャット」
- ③記念講演会(90分) 15:15~16:45 3階「チャット」
テーマ:「ものづくりで夢を叶える」
講師: 大坪 正人氏 ((株)由紀精密 代表取締役社長)
- ④集合写真記念撮影 16:45~17:00 3階「チャット」
- ⑤懇親会(立食パーティー) 17:00~18:30 3階「グレース」

第5回総会ゴルフ

日時: 2017年6月10日(土)
9:03 OUT・IN 同時スタート
(予定: 7組)

場所: 久能カントリー倶楽部



■各支部総会

- 開催日時・場所:
- 東京支部総会** 2017年6月9日(金) 12:30~ (昼食 12:00~12:30) 於: 八芳園
 - 東海支部総会** 2017年5月31日(水) 18:00~ 於: 岐阜グランドホテル
(ゴルフ会: 同日 9:40 スタート 於: 岐阜関カントリー倶楽部)
 - 彦根支部総会** 2017年5月12日(金) 17:20~ 於: やす井
 - 近畿支部総会** 2017年5月30日(火) 15:00~ 於: 大阪 新阪急ホテル



工業会の組織変更について

2017年度より、次の3つの組織が新設された。

1) 運営会議

理事会への諮問機関的役割を持ち、工業会の運営・技術両側面での実質的決議機関。各分会・委員会の上に位置し、工業会の事業年度計画を策定する。

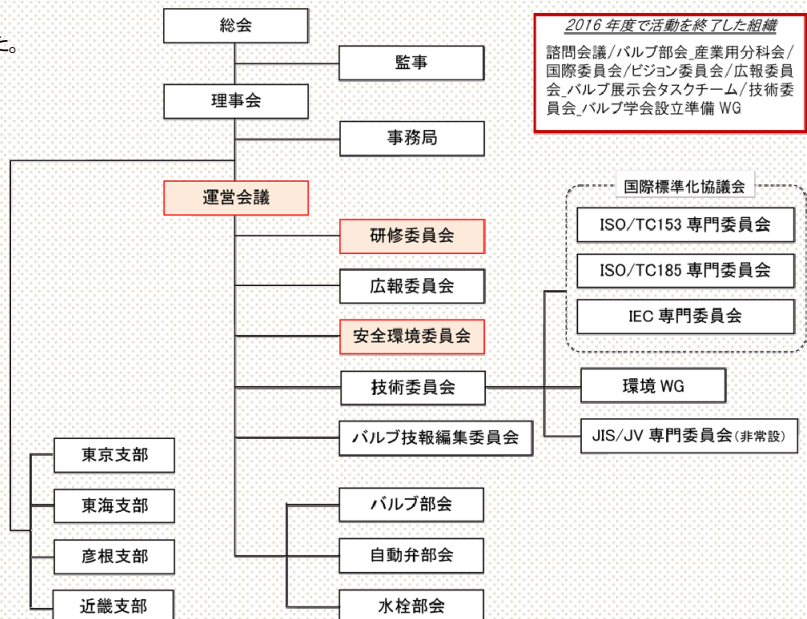
2) 研修委員会

人材育成体系を確立し、会員の技術力向上、後継者への技術伝承、マネジメント力の育成、キャリア支援を進めることを活動の目的とする。

3) 安全環境委員会

会員の作業環境、労働安全に係るマネジメント力向上を目指す。なお、今後の活動を推進するにあたっては、技術委員会/環境WGとの連携も想定されるが、現在環境WGが手掛けている事業は、引き続き同WGが行う。

(一社)日本バルブ工業会 新・組織図



見学会・研修会報告

■技術研修会【主催：技術委員会】

開催日：2017年3月7日（火）
 場 所：機械振興会館（東京タワー前）
 参加者：35名
 講 師：(株)アイデア 代表取締役社長 前古 護 氏
 テーマ：「利益と元気を出す道具の話 ～そうかそんな手があったのか～」

断トツ製品・断トツ技術の構築により、より良い品質の製品を早く安く開発して利益を得る。
 そのためのメソッドを実例とともに解説。



■IoT活用推進セミナー【主催：自動弁部会】

開催日：2017年4月10日（月）
 場 所：機械振興会館（東京タワー前）
 参加者：34名



■プログラム■

「ISA 100 Wireless で変わる現場のリスク管理」

- ・長谷川 敏 氏 ISA 100WCI アジア太平洋地区日本支部長
 横河電機(株) マーケティング本部 標準化戦略室 マネージャー
- ・金澤 怜志 氏 ISA 100WCI アジア太平洋地区日本支部 事務局
 横河電機(株) マーケティング本部 標準化戦略室

「IoT マネジメントと IEC/TC65 の関係および調節弁用語辞書規格の位置づけ」

- 奥津 良之 氏 (一社)日本バルブ工業会 自動弁部会長
 アズビル(株) アズビル・アカデミー 技師長

最近プラント等で使用の広がりを見せている無線通信技術「ISA 100 Wireless」の概要やユーザーの導入事例等について説明。

■自動弁部会「若手半日ショップツアー」開催報告

開催日：2017年3月22日（水）
 見学先：(株)ベンカン MJ工場（群馬県太田市）
 [溶接継手、メカニカル継手の生産ライン見学]
 参加者：14名



見学レポート (株)ヨシタケ 開発第一事業部 高木 潤

このたび日本バルブ工業会主催による、若手社員を対象とした若手半日ショップツアーに参加いたしました。
 今回のツアーでは、まず株式会社ベンカンの会社と製品についてのご説明を頂き、その後実際の工場内を溶接継手、メカニカル継手のラインの順で見学しました。
 溶接継手ラインでは全長何mもある巨大なマンドレルのダンドリ換えの最中で、熱間加工で赤熱した治具の交換作業は圧巻でした。
 メカニカル継手の加工ラインは専用機やフィーダーで自動化されていました。購入する素材にも工夫を加え、品質向上と工数削減を実現しているそうです。
 さらに、工場内は安全管理が徹底されていました。多数設置されたエアセンサやフェンスから、消火器の位置を示す看板に至るまでよく整理されていて、とても勉強になりました。
 最後になりますが、お忙しい中大変丁寧にご説明いただきました 株式会社ベンカン MJ工場、ならびに 株式会社ベンカン機工桐生工場の皆様に感謝申し上げます。

当会の広報活動等について

■第6回「バルブフォト五七五コンテスト」入選作品決定！

今回で6回目の開催となった「バルブフォト五七五コンテスト」は、前回から大幅増の191名387作品もの応募があり、作品数は過去最高であった。

毎回クオリティの高い作品が多く寄せられるなか、厳正なる審査の結果、最優秀は右記作品に決定し、その他の入選作品も含め当会ホームページで公開している。

バルブが我々の暮らしの中でどのように役立っているか、再認識いただくコンテストとして、これからも継続開催し、業界のイメージアップにつなげていく。

第7回コンテストは本年秋頃に作品募集を開始予定。



第6回最優秀作品：真夏の給水
「暑いよう 慌てて飲んで 鼻の中」
マコナさん（沖縄県）

【入選作品ギャラリー】

<http://www.j-valve.or.jp/valvephoto575/gallery2016.html>

関係官庁・団体からのお知らせ

■セキュリティ関連情報提供サービスの活用について【経済産業省】

昨今、サイバー攻撃の件数が著しく増加し、その影響は深刻化している。サイバーセキュリティ上の課題の一つに、脆弱性(セキュリティ上の問題箇所)への対応が挙げられるが、セキュリティ上の問題箇所を修正した修正版のソフトウェアにバージョンアップすることなどにより対策をとることができる。

セキュリティ対策としては、必要な情報を各企業がいち早く入手し、対応することが重要である。脆弱性情報を含む注意喚起等のメール配信サービスや、企業内のポータルサイトと連携し、リアルタイムに「重要なセキュリティ情報」を表示できるサービスが各種関連団体等から提供されているので、是非ご活用を！（下記の経産省文書ご参照）



■セキュリティ関連情報提供サービスの活用につきまして（経済産業省 製造産業局長/商務情報政策局長名文書：PDF）

http://www.j-valve.or.jp/pdf/security_info.pdf

■海外に渡航・滞在される方へ ～テロ犯罪・感染症対策と「たびレジ」登録のお願い【外務省】

外務省では、3か月未満の短期間海外へ渡航する者が、メールアドレスを登録することにより、現地での滞在先情報や、渡航先の安全情報、緊急時の連絡などの受け取りが可能になるサービスを行っている。

私的海外旅行等の際などは、外務省が運用している海外旅行登録システム「たびレジ」に是非ご登録を。



■たびレジ（外務省海外旅行登録システム） <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

■平成29年工業統計を実施します【経済産業省】

工業統計調査は、わが国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な調査で、**従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に平成29年6月1日時点で実施する。**

調査の趣旨・必要性をご理解の上、本調査にご協力を！



■中小企業施策利用ガイドブック【中小企業庁】

中小企業庁では、経営改善・資金繰り対策、震災対策など、中小企業者向けの施策の利用手引書「**中小企業施策利用ガイドブック**」を発行している。

平成29年度版(PDF)はコチラ ↓

http://www.chusho.meti.go.jp/pamphlet/g_book/h29/





会員ひろば ~ エッセイ No.5 ~

■バルブと私 (Vol. 2)

(株)清水合金製作所 橋岡 由男 常務取締役 技術本部長

二つめのバルブ

私の出会った二つめのバルブは英語ではbulbと綴る。日本語では何と訳すのか知らないがカメラで長時間露光する際に使用するシャッター速度目盛でBと表示されるあれである。

実は、バルブというとは私は何故か先にカメラを連想してしまう。実家は神戸で豆腐店をしていたが父親は若いころミノルタでカメラの開発をしていた関係で子供のころから身の周りには光学機械に関する書籍や道具があり、自然にそれらに接していた私は、望遠鏡やカメラが好きなオタクな子供であった。

小学一年の遠足の時に初めて買ってもらったカメラが富士写真フィルムのフジペット。レンズは単玉のf75mmF11、ピントは固定焦点、シャッター速度は1/50sとbulbのみ、露出は絞りF11~F22に相当する3種類のお天気マークに合わせるだけという富士がフィルムの普及をねらった入門カメラである。フィルムはプロローニー判でボディの裏の赤い窓にフィルム裏紙の数字が出るようにノブを回して送る。今のようなフィルム送りのシャッターチャージ機構や多重露出防止機構もないので二重露出や空撮りのコマがよくあった。それでも晴天下で撮影した写真はともきれいだっだし、bulb であてずっぽうに撮った夜景なんかもそれなりに写り、運動会や遠征で活躍し“上手”と親から褒められると悦びいていたのを思い出す。近所の写真屋さんの腕が良かったのかもしれない。今年発売 30 周年の“写ルンです”はまさにこのカメラのシンプルさとネガフィルムのラチチュードの広さから生まれた大ヒット商品だ。プラスチック単レンズf32mm F10、1/140sec 固定シャッターなど富士ペットの流れを汲むスペックは、フィルムならではであり今のデジタルカメラでは不可能であろう。さて、そんな子供時代、望遠鏡も好きで、当然お金もないので学習用のコルキットという紙筒の単レンズ望遠鏡を組み立てて月や金星を見ては星空へのあこがれを膨らませていった。夜中に父親のコンカFMを持ち出してはbulbで星空の撮影を始めるが人に見せられるような写真が撮れるようになるのは随分後で転職して山梨県に移住してからである。ハケ岳周辺の星空の美しさは貴重である。移住した翌年、世紀の大彗星と言われた百武彗星、その翌年にはヘールボップ彗星が相次いで接近し野辺山まで出かけてbulb撮影したのがきっかけで天文熱が再発した。本格的に長時間天体の動きを追尾できる機材をそろえ始めた。



フジペット
発売当時¥1950、爆発的に売れたらしい。

2.1 銀塩時代

カメラはデジタル一眼レフ発売前夜であり天体写真には高感度銀塩フィルムを使用した。NIKON FをD210mmf2000mmの望遠鏡の直焦点に取り付け、星の動きに合わせて望遠鏡で星を追尾しbulbで長時間露出する。何十分も露出すると写真のようなオリオン大星雲M42やNGC1977などカラフルな星雲がネガ上に現れてくる。銀塩フィルムには相反則不規という特性があつて長時間露出すればするほど感度が低下するので時には一時間以上も十字線上のガイド星を目視でON-OFFしながら追尾する必要がある。実はこの場合、シャッター機構は不要で望遠鏡(レンズ)を蓋で開閉するだけでよいので写真のようなフィルムホルダーを利用した天体カメラも簡単に自作可能である。



ヘールボップ彗星 野辺山にて
標準レンズBulbにて20秒露出



オリオン大星雲M42
ISO3200 銀塩ネガフィルムでBulb20分露出



オリオン座散光星雲NGC1977
ISO1000 銀塩ポジフィルムでBulb60分露出



■ 会員ひろば

2.2 冷却 CCD カメラと自動導入

やがて CCD や C-MOS などの半導体撮像素子を使用したデジタルカメラが発売され天体写真にも使用され始めるが、初期のものは常温で長時間露出するとノイズが大きく使い物にならなかった。そのためペルチェ素子で CCD を -20~-30°C に冷却してノイズの発生を抑える天体写真専用のカメラが現れる。このカメラにはファインダーも無ければメカニカルなシャッターもなくすべての制御はコンピュータ上のソフトウェアで行う。画像確認はコンピュータのディスプレイで行う。やがて星の導入も望遠鏡を向けたい座標を入力するだけで視野の中に目的の天体を導入してくれる自動導入の時代になる。実は銀塩時代はほとんどの星雲は大きな望遠鏡を通して目では見えず星の配列を頼りにフィルム上に導入し現像して初めて確認できるので、冷却 CCD カメラの出現は画期的であった。コンピュータのディスプレイ中で目的の天体が短時間露出によって確認でき、銀塩とは比較にならない労力で撮影できるようになった。

カメラ毎の作例を写真に示すが、下記 HP も見て頂ければ幸いである。

<http://www.geocities.jp/hosiojisama/index.html>



自作天体用円形写野カメラ
(シャッター無し)



天体用冷却 CCD カメラ



おおぐま座子持ち銀河 M51
冷却 CCD 10 分露出画像 3 枚合成

職場の調理器具
汚れていませんか？
こまめに掃除を！



ガスコンロや電子レンジの汚れを放置すると火災の原因に！！！！
コンロや、電子レンジ、電気オーブトースターの汚れをそのままにいませんか？

ガスコンロの煮こぼれやグリル皿、グリル庫内の油脂汚れをそのままにして使用したり、電子レンジの庫内に食品かすが付着したまま使ったり、コンロの近くに布巾(ふきん)や容器などを置いたりして着火して火災になる事故が起きている。

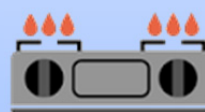
また、電気コンロでは、リコール対象製品であるものの未改修であったために、意図せず電源が入り周囲のものに着火した事故も起きている。

毎日使う調理器具の汚れや、コンロなどの周りに燃えやすいものがないかをチェックを！

電気コンロはリコール対象製品か今一度ご確認を！

■ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

<http://www.nite.go.jp/index.html>



工業会活動報告 (2017 (H29) 年1月~4月)

新・理事会

・第16回理事会

2017-03-22(水) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 新年賀詞交歓会収支報告承認について
- (2) 2016年度JV賞受賞者承認について
(受賞者:(株)フジキン 中村浩一 殿)
- (3) 会員の退会及び種別変更承認の件
・退会(賛助会員):(株)エーアンドエーマテリアル(H29.3.31付)
・種別変更(賛助会員⇒正会員):ハンスグローエジャパン(株)(H29.4.1付)
- (4) 会員の支部移行及び支部運営規程改正承認の件
・(株)ヨシタケの支部移行:東海支部⇒東京支部(H29.4.1付)
- (5) 次期工業会役員候補者承認の件
- (6) 2017年度事業計画(案)・予算(案)、2016年度決算見込み並びに関係規程類の見直し・制定承認の件
- (7) 2017年度理事会及び運営会議開催日程(案)承認の件
- (8) 常勤役員に係る規程改正承認の件
- (9) 2017年度事務局役職員給与・賞与支給(案)承認の件
- (10) 専務理事退職慰労金支給(案)承認の件
- (11) その他
・2017年度事務局業務改善と人材採用について

諮問会議

・第10回諮問会議

2017-03-22(水) 於:機械振興会館

出席者:37名

- (1) 新年賀詞交歓会収支報告について
- (2) 2016年度JV賞受賞者について
- (3) 2016年度高齢者雇用推進事業報告について
- (4) 会員の退会及び種別変更について
- (5) 会員の支部移行及び支部運営規程改正について
- (6) 次期工業会役員の選出について
- (7) 2017年度事業計画(案)・予算(案)、2016年度決算見込み並びに関係規程類見直し・制定について
- (8) 第6回バルブフォト五七五コンテスト入賞作品について
- (9) その他

- ①新設「運営会議」について
- ②コンプライアンスの徹底について
- ③バルブ産業ビジョン完了報告について

※上記の第10回諮問会議の開催をもって、「諮問会議」は活動中止となった。



バルブ部会

2017-03-24(金) 於:大阪新阪急ホテル

出席者:23名

主要審議事項:

- (1) 前回部会収支報告
- (2) 競争法コンプライアンスの強化について
- (3) 2016年度事業報告及び収支について
- (4) 2017年度事業計画及び予算について
- (5) 若手社員研修会への講師派遣について
- (6) 分科会及びグループの活動報告

◎工業用分科会

○電力弁G会議

2017-03-16(木) 於:筑波山ホテル青木屋

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 関係市場動向について
- (2) 次年度の事業活動について

【見学会】

2017-03-16(木)

見学先:つくば宇宙センター、高エネルギー加速器研究機構

参加者:16名

○鍛造鋼弁G/ステンレス・ボール弁G合同会議

2017-02-17(金) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

・国内外の需要動向について

◎建築用分科会

2017-02-02(木) 於:機械振興会館

出席者:12名

主要審議事項:

・建築市場動向について

◎船用弁分科会

2017-04-14(金) 於:メルパルク大阪

出席者:15名

主要審議事項:

- (1) 2016年度事業報告・決算報告
- (2) 2017年度事業計画・予算承認
- (3) 最近の船用関連工業等について

自動弁部会

2017-03-08(水) 於:機械振興会館

出席者:19名

主要審議議題

- (1) 前回部会収支報告
- (2) 競争法コンプライアンスの強化について
- (3) 2016年度事業報告及び収支について
- (4) 2017年度事業計画及び予算について
- (5) 安全環境委員会&研修委員会への委員派遣について
- (6) 若手社員研修会への講師派遣について

(7) ISA100Wirelessについて

(8) 各種報告

水栓部会

◎幹事会

2017-02-15(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:8名

2017-04-19(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:10名

・部会審議事項について事前協議した。

◎部会

2017-02-15(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:21名

2017-04-19(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:30名

主要審議事項:

- (1) 2017年度からの水栓部会中期活動計画について
- (2) 2016年度 水栓部会事業報告(案)について
- (3) 2017年度 水栓部会 見学会について
- (4) 2017年度 水栓部会 海外視察について
- (5) 2017年度 若手社員研修会水栓部会講師について
- (6) 給水栓標準化小委員会審議報告について
- (7) 保証小委員会審議報告について
- (8) 技術小委員会審議報告について

◎給水栓分科会

2017-02-15(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:14名

2017-04-19(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:21名

給水栓分科会関連事項について、協議した。

◎止水栓分科会

2017-02-15(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:7名

2017-04-19(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:10名

止水栓分科会関連事項について、協議した。

◎給水栓標準化小委員会

2017-01-31(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:13名

2017-02-28(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:10名

2017-03-31(金) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 建築物省エネ法について
- (2) JIS B 2061 の改正について
- (3) 浄水器関連 JIS の動向について
- (4) 節湯水栓基準の見直しについて
- (5) 給水装置の構造材質基準について

◎保証小委員会

2017-03-14(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 保証に関する課題及び冊子作成について
- (2) 「水栓金具の安全確保のための表示実施要領」の改正について
- (3) 2017年度からの中期活動計画について

◎技術小委員会

2017-03-02(木) 於:機械振興会館

出席者:14名

2017-04-18(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) 海外材料メーカー・水栓メーカーの情報・調査について
- (2) 水道水質基準の改正動向及び対応について
- (3) 国内外の規制動向について

広報委員会

2017-02-16(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 委員長及び委員の交代について
- (2) バルブの日新聞企画について
- (3) 会員からの「ばるちゃん」使用申請について
- (4) ホームページリニューアルについて
- (5) 2017年度予算・活動計画について

2017-04-12(水) 於:機械振興会館

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンスの強化について
- (2) ホームページリニューアル進捗状況について
- (3) 2017年度の新聞等メディアでの広報について
- (4) 今後の広報活動の方向性について

◎バルブ展示会タスクチーム

2017-03-17(金) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:4名

主要審議事項:

- (1) 展示会タスクチームの解散について
- (2) 2017年度以降の広報活動について

技術委員会

2017-02-18(土) 於:名古屋/安保ホール

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 環境 WG の活動進捗について
- (2) バルブ関連 JIS、ISO 及び JV 規格の動向について
- (3) 2017年度 若手社員研修会について
- (4) 2016年度 技術研修会について
- (5) 技術委員会の中期活動計画について

◎技術研修会

2017-03-07(火) 於:機械振興会館

参加者:35名

研修テーマ:

「利益と元気を出す道具の話～そうかそんな手があったのか～」

(詳細はP2「見学会・研修会報告」参照)

◎環境WG

2017-03-16(木) 於:機械振興会館

出席者:6名

主要審議事項

- (1) 競争法コンプライアンスの強化について
- (2) 環境関連情報(2～3月分)報告
- (3) 会員向けアンケート実施について
- (4) 環境配慮パルプ登録制度の周知について

パルプ技報編集委員会

2017-03-17(金) 於:機械振興会館

出席者:4名

主要審議事項:

- (1) 技報第78号(2017年3月号)について
- (2) 技報第79号(2017年9月号)について

研修委員会

2017-04-26(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンスについて
- (2) パルプ工業会の中期活動計画及び組織について
- (3) 研修委員会の活動内容・スケジュールについて

安全環境委員会

2017-04-25(火) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンスの強化について
- (2) 活動方針、開催スケジュールについて

パルプ製造業高齢者雇用推進委員会

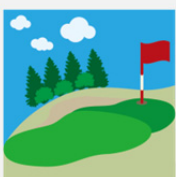
2017-02-01(水) 於:機械振興会館

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) 普及啓発セミナー報告
- (2) 2016(平成28)年度事業報告書(案)について

※2年間にわたる本事業については、今回の委員会をもって終了した。



支部だより

東京支部

○役員会

2017-03-22(水) 於:機械振興会館

出席者:17名

主要審議事項:

- (1) 東京支部役員会懇親会・ゴルフ大会収支報告について
- (2) 会員の種別変更(賛助会員→正会員)、退会及び支部移行(東海支部→東京支部)について
- (3) 2017年度東京支部事業計画(案)、2016年度収支見込み及び2017年度収支予算(案)について
- (4) 2017年度東京支部総会開催計画(案)について
- (5) 東京支部役員改選について
- (6) 2017年度東京支部役員会及び行事開催日程(案)について
- (7) 2017年度理事会及び運営会議開催日程(案)について
- (8) その他
 - ・平成29年度新製品新技術開発助成金事業について

彦根支部

○役員会

2017-02-24(金) 於:支部会議室

出席者:3名

主要審議事項:

- (1) 2017年度支部関係予算、新規費用科目明細について
- (2) 2016年度収支決算書(見込)について
- (3) 2017年度収支予算書(案)について

○支部会議

2017-03-03(金) 於:支部会議室

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 役員改選について
- (2) 2017年度支部予算について

2017-04-06(木) 於:支部会議室

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) 日本パルプ工業会との業務委託契約について
- (2) 滋賀パルプ協同組合設立30周年記念式典について

近畿支部

○役員会

2017-03-22(水) 於:機械振興会館

出席者:11名

主要審議事項:

- (1) 2016年度第2回近畿支部役員会・見学会収支報告
- (2) 2017年新年互礼会収支報告
- (3) 近畿支部役員改選について
- (4) 近畿支部2016年度決算見込み及び2017年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- (5) 2017年度近畿支部役員会及び行事日程(案)について
- (6) 2017年度理事会及び運営会議開催日程(案)について

会員の動向

社名変更

2017年4月

新社名: IMIジャパン(株)

(旧社名: シーシーアイ(株))

代表者変更 (敬称略)

・(株)日阪製作所

2017年4月 代表取締役社長 竹下 好和

・(株)ケーヒンバルブ

2017年4月 代表取締役社長 大町 信一

・(株)大和バルブ

2017年5月 代表取締役社長 伊東 利一

移 転

オーエヌ工業(株) 新本社・工場

移転先 (2017年2月より)

〒708-0011 岡山県津山市上田邑 3235-2

(電話番号の変更なし)

イーグル工業(株)

移転先 (2017年2月より)

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1

芝パークビルB館 14階

(本社代表) TEL:03-3438-2291

(東京支店代表) TEL:03-6432-0983

日本ピラー工業(株)

移転先 (2017年3月より)

〒550-0013 大阪市西区新町 1-7-1

(本社代表) TEL:06-7166-8281



2017年5月9日発行 ■■■ JVMA 通信 No.24 ■■■

(発行元) 一般社団法人 日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

